

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム さくら

作成日：平成31年2月26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 (1)	事業所理念の理解を、職員間で共有が出来ていない。	事業所理念を通して、一人ひとりが思う生活を実現できるようケアの提供を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・直接伺える入居者様については、一人ひとりに行きたい場所、やりたいこと、食べたい物等聞き取りをし、可能な限り要望に沿うよう個々に進める。(ラーメン屋を呼び、外での昼食会・訪問買い物・外出での買い物)支払いも本人でして頂く。ADLの自立した方のみではなく、車椅子の方でも、同様に行う。 ・地域行事への参加、アトラクションの方々を招待し、施設内の出の関わりを持てる機会を作る。(現状継続) 	12 か月
2	10 (6)	ご家族に対して具体的な支援内容、情報提供及び、面会以外での直接的な声を聞く機会がない。	ご家族様に対して、見える介護・ご家族様の要望や気持ちを理解しながら共有することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・面会の際に、管理者または居室担当職員からご家族に対して、現状のご報告をし、支障がある場合にはご家族様の要望、気持ちを伺いながら方法を共有する。遠方のご家族様については、現状行っている。お手紙での報告を行う。(内容については、事前に管理者と確認を行う。また、写真等も利用し、より様子がわかるような工夫も行う) ・定期的にご家族様と面談を行う。 ・定期の満足度アンケートの実施。 ・各階に要望用紙専用箱を設置する。 	12 か月
3	4 (3)	運営推進会議にて、参加者が固定されている。また、地域との関わりをより深くし、情報の共有が必要。	・地域の方々に参加頂き、お話を頂くことにより、地域の状況や知識を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の駐在所の警察官(同地区の防犯現状や予防等)。 ・消防職員(災害・火災等の現状予防)。 ・近隣の福祉施設の施設長や職員に参加頂き、情報交換や交流を深める。 	12 か月